

令和3年度版

連携型中高一貫教育に係るアンケート調査の結果と考察

分野別

I. 油木高校魅力化+プロジェクト 編



中高次世代議会
(令和3年12月24日)



神石高原町教育委員会

目 次

I. 油木高校魅力化+プロジェクト 編

	ページ
1. 油木高校魅力化+プロジェクトに係る直接的設問について ……	1 ~ 8
2. 油木高校魅力アップに係る町の支援について ……………	9 ~ 12
3. 油木高校魅力アップに係る共通課題的設問について ……………	13 ~ 20

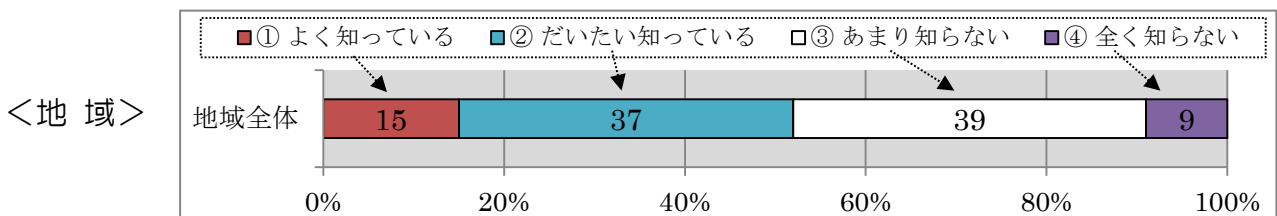
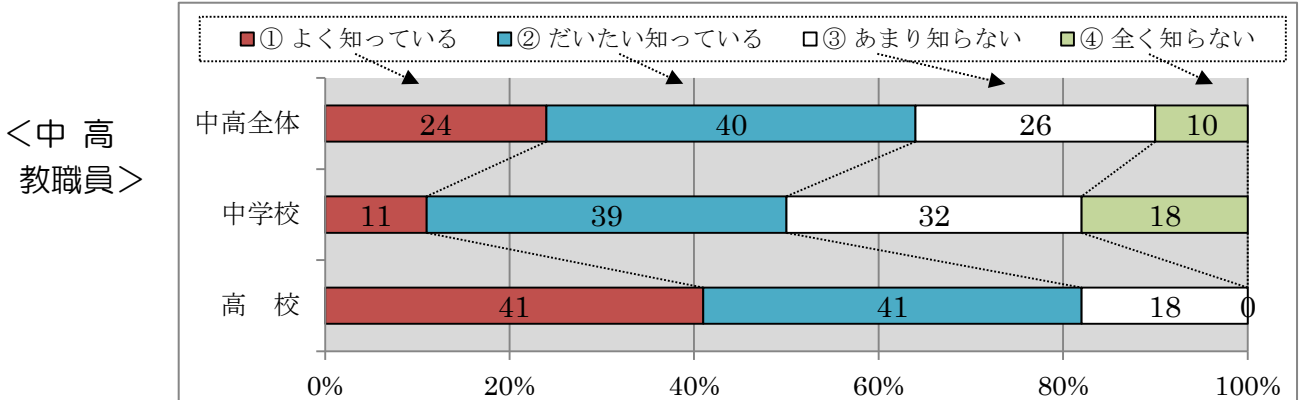
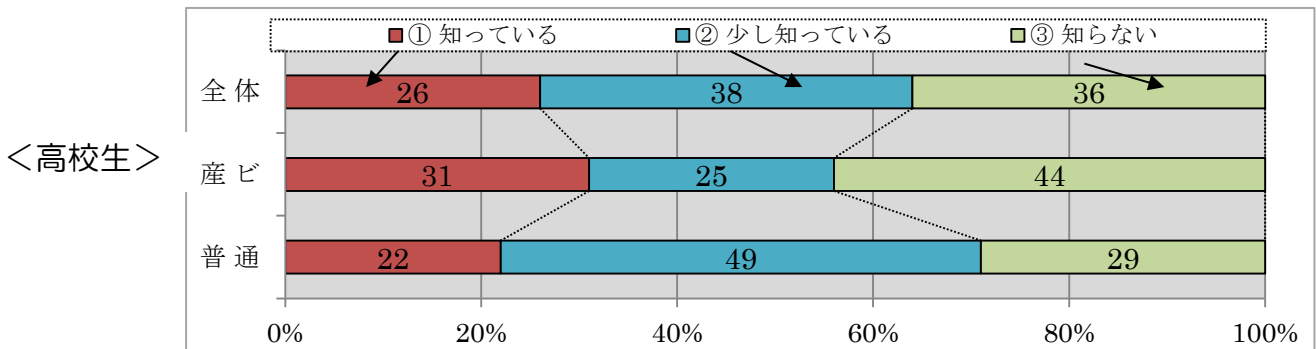
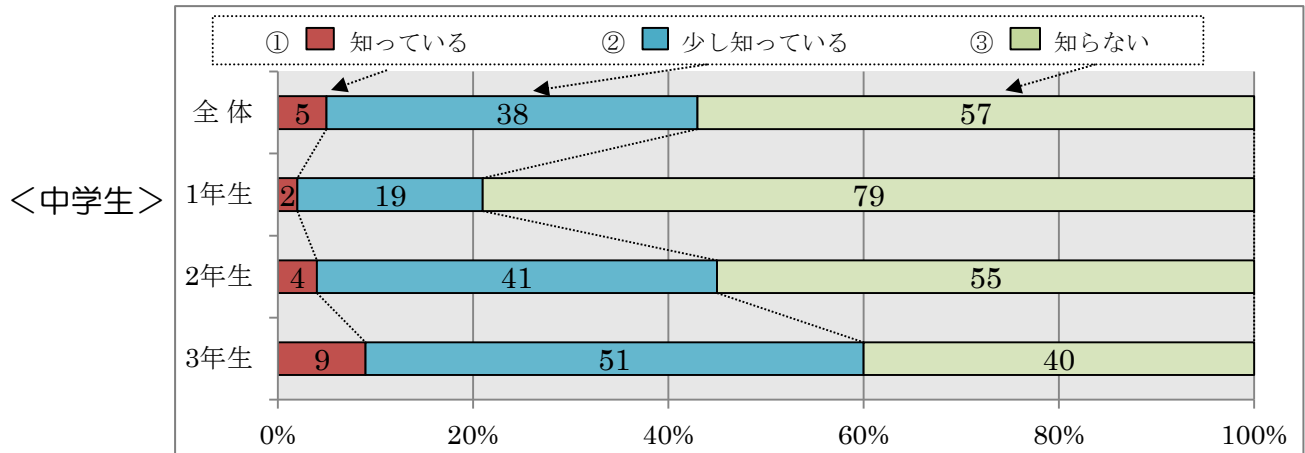
※ アンケート実施期間：令和4年1月13日～27日

回 答 者 数

1. 中 学 生	回答者数 <u>155人</u> / 在籍者数	163人
2. 高 校 生	回答者数 <u>154人</u> / 在籍者数	165人
3. 中・高教職員	回答者数 <u>48人</u> / 全教職員数	50人
4. 小学校保護者	回答者数 <u>154人</u> / 対象児童数	163人
5. 中学校保護者	回答者数 <u>155人</u> / 生徒総数	163人
6. 地 域	回答者数 <u>77人</u> / 質問者数	110人

3. 「油木高校魅力化+プロジェクト」に係る 直接的設問 について

1 神石高原町では油木高校のさらなる魅力づくりを創出するために、「油木高校魅力化+プロジェクト」に取り組んでおり、その具体策（「総合的な探究の時間」の学習内容と指導法の開発、放課後「神ゼミ」など）を実施していますが、その「油木高校魅力化+プロジェクト」のことを知っていますか。



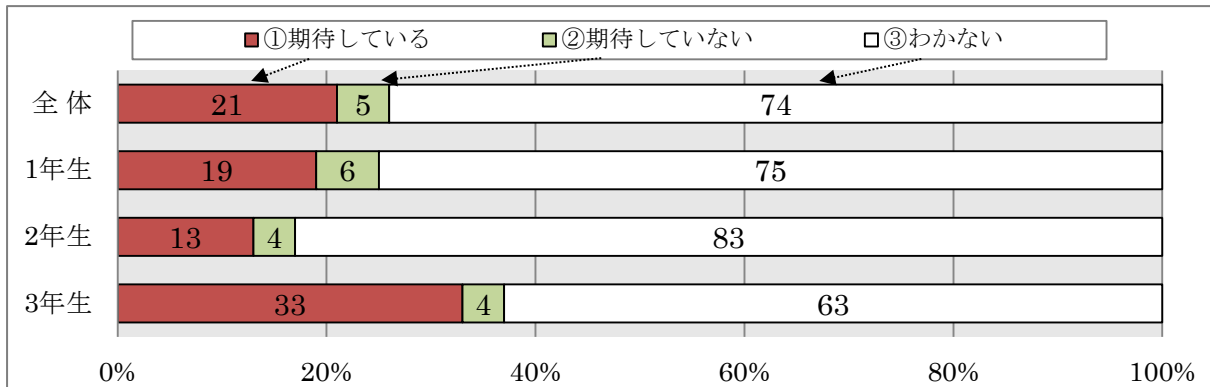
※ <意見>・県内の大学ではいけないのですか？ ・進学実績は上がっていますか？

考察 ・認知度が高いのは、全体でみると高校生と中高教職員が同率の64%で、続いて地域・中学生の順であるが、その中で当事者として日夜実践しておられる高校の教職員が82%と最も高い数値であった。

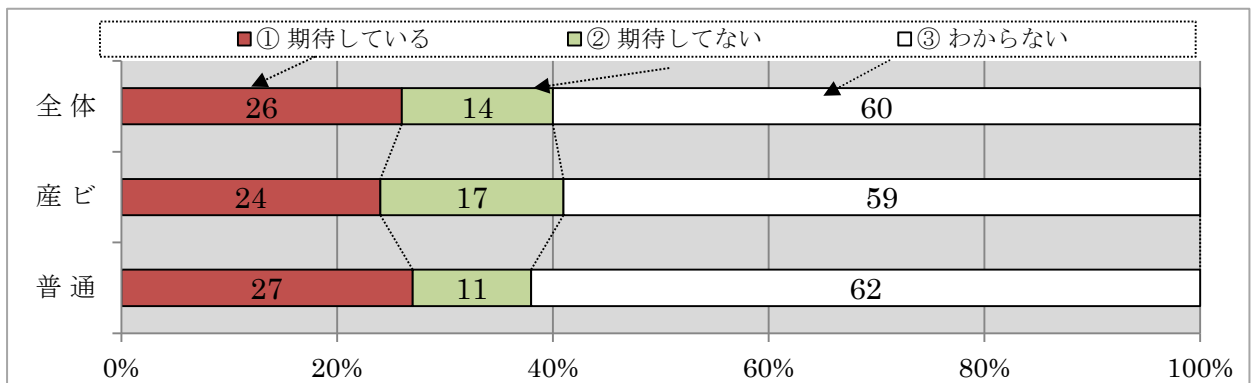
・油木高校ホームページの「高校魅力化+プロジェクト」コーナーの更新は「神ゼミにゆうす」ぐらいで、その他の新情報更新が不足していた。「総合的な探究の時間」の取組状況は、広く多くの方が関心があると思われる。

② 「油木高校魅力化+(グループ)プロジェクト」に期待感をもっていますか。

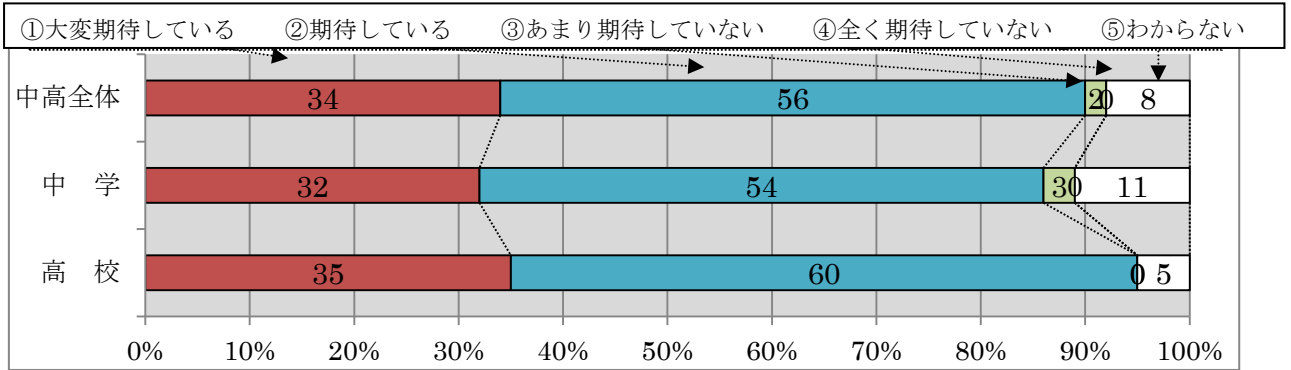
<中学生>



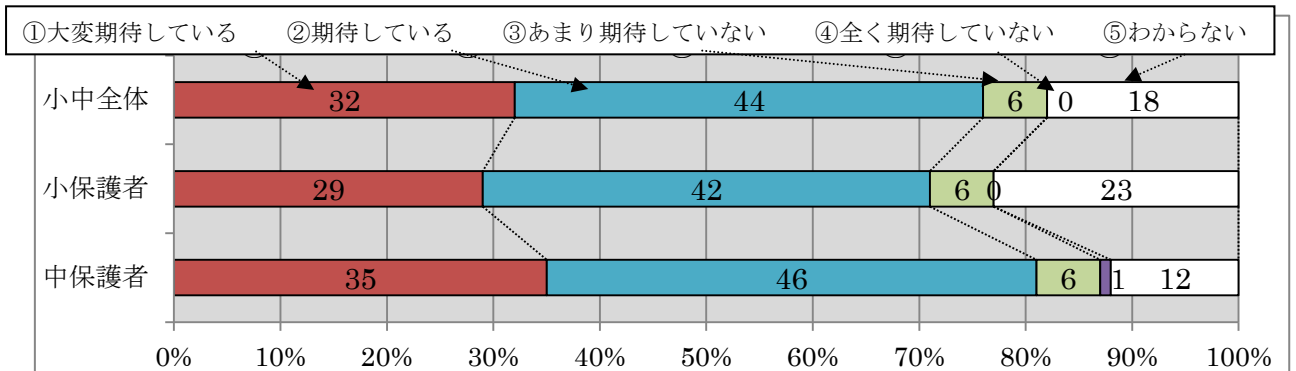
<高校生>



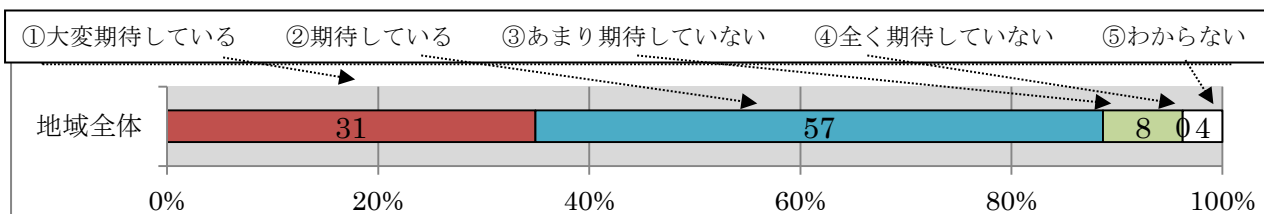
<中・高教職員>



<小・中保護者>



<地 域>



考察 ・「大変期待している・期待している」の肯定的回答としては、中高教職員の90%が最も高く、次いで地域の88%、小中保護者の76%で、順位としては昨年度と全く同じであった。

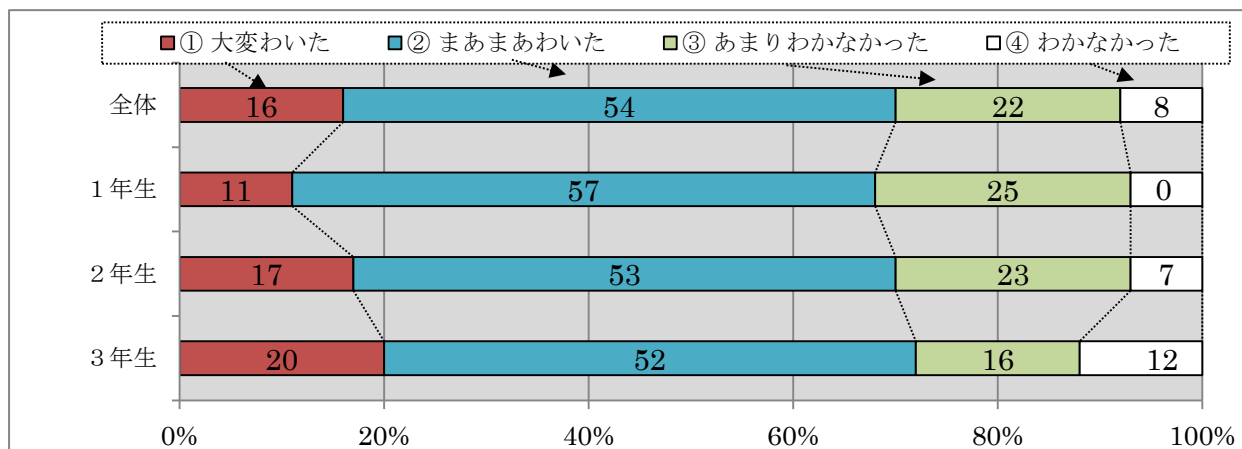
・反対に「期待していない・あまり期待していない」の否定的回答は、昨年度全てが4~9%の一桁台であったが、本年度は、いわゆる主人公である高校生だけ14%と二桁台で、中身が十分に理解できていないものと思われる。

・「わからない」とする者が、中学生、高校生に非常に多く、60%~70%以上が「わからない」と回答しており、まだまだ情報提供が不足していることを反省し、今後の重要課題として取り組んでいく必要がある。

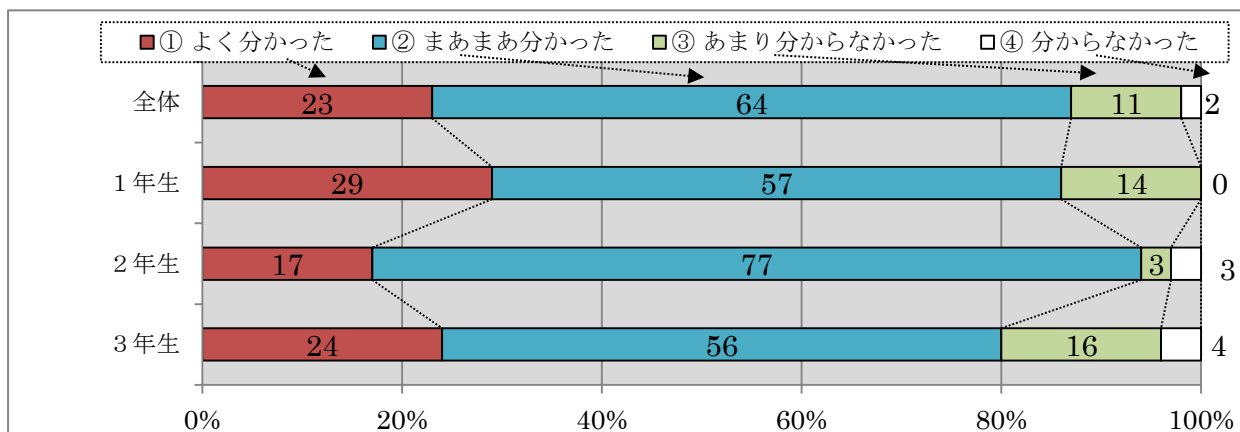
③ <高校生> 普通科全学年に本年度の「総合的な探究の時間」のことについて質問します。

* 普通科生の1~3年生のみ答えてください。

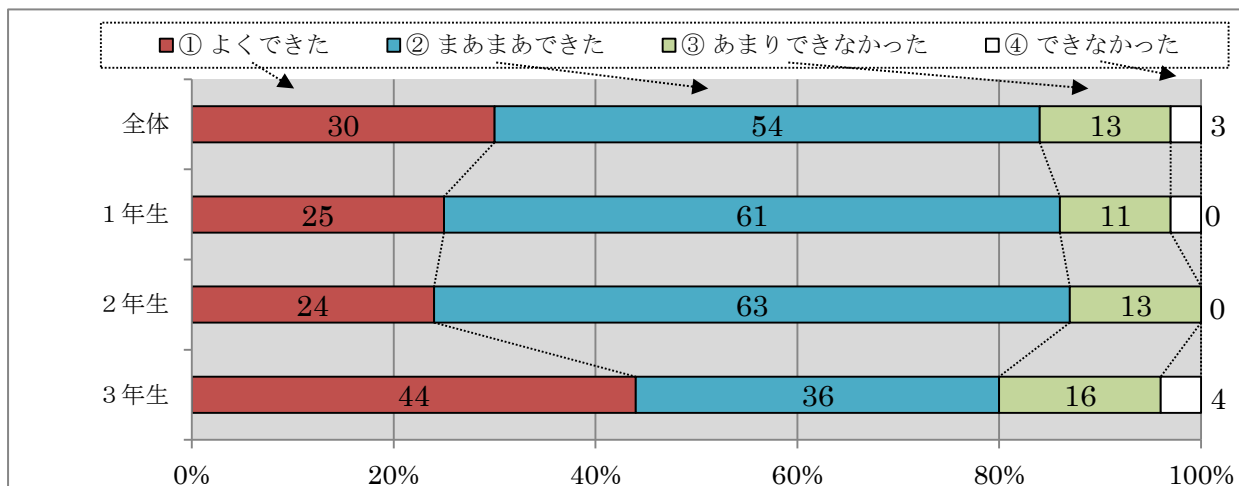
(1) 学習内容について興味や学習意欲がわきましたか。(興味・関心・意欲)



(2) 授業内容は分かりましたか。(理解度)

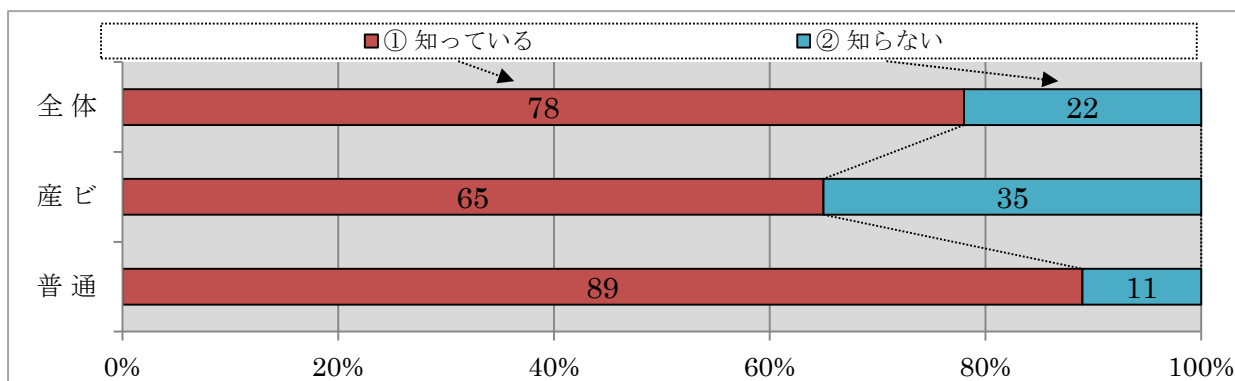


(3) 授業では積極的に学習活動ができましたか。(態度・活動面)

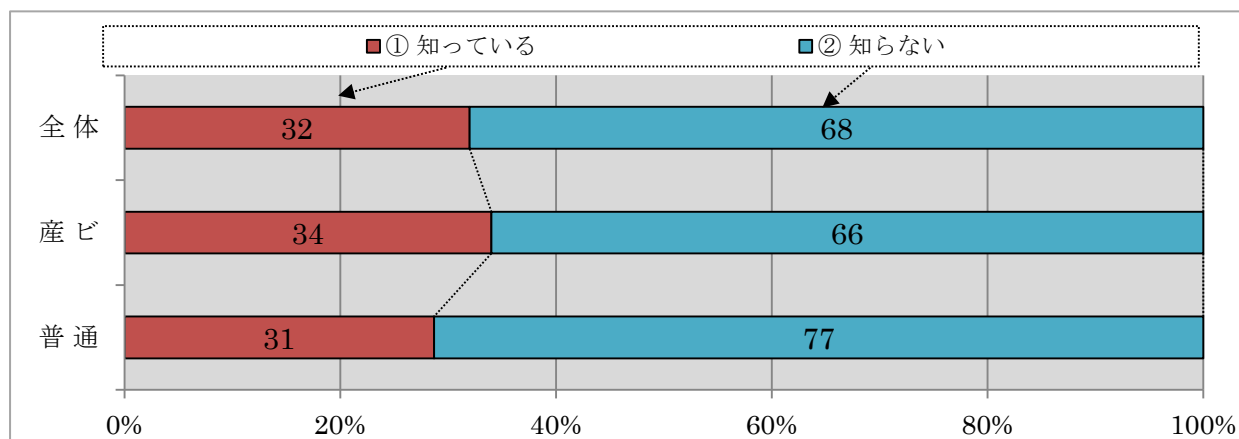


考察 ・普通科の全学年に「総合的な探究の時間」について、(1)で興味・関心・意欲を、(2)で理解度を、(3)で態度・活動面をそれぞれに質問したのですが、どの項目についてもあまり学年差は感じられなかったが、いずれも70%以上の高い肯定的自己評価をしている。中でも、(3)の態度・活動面で3年生の約半数(44%)の生徒が「よくできた」との高い自己評価をしていた。このように生徒自身が高い評価をしているのは、各学年の総合担当の先生やキャリア教育コーディネーター(地域興し協力隊員)のこれまでの経験知からの指導や(株)プリマペンギーノの適切なアドバイスのお陰であると感じている。

4 <高校生> (1) 放課後「神ゼミ」(伊藤・青木)が実施されていることを知っていますか。



(2) 放課後「神ゼミ」(伊藤・青木)では、どんなことをしているか知っていますか。



(3) 本年度、放課後「神ゼミ」(伊藤・青木)を受講したことがありますか。 ※()内は昨年度の人数

	産業ビジネス科	普通科	総計
	(受講したことがある)	(受講したことがある)	(受講したことがある)
1年生	2人(0人)	3人(0人)	5人(0人)
2年生	2人(7人)	2人(4人)	4人(11人)
3年生	6人(0人)	3人(2人)	9人(2人)
計	10人(7人)	8人(6人)	18人(13人)

(4) 放課後「神ゼミ」(伊藤・青木)を受講した人は、どんな感想をもちましたか。

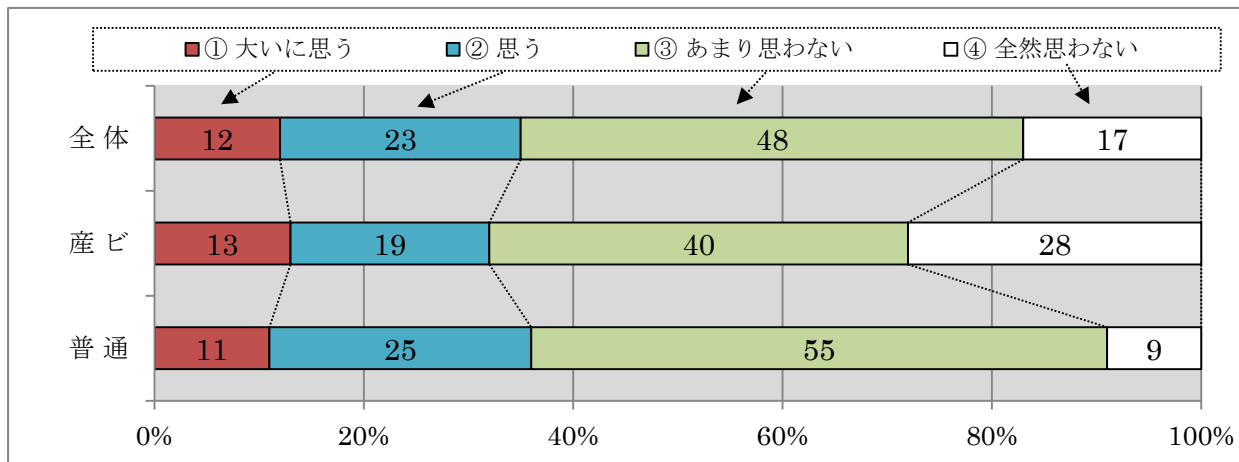
	① 大変勉強になる		② 勉強になる		③ あまり勉強にならない		④ 勉強にならない	
	産ビ	普通	産ビ	普通	産ビ	普通	産ビ	普通
	1年生	1	0	3	3	0	0	2
2年生	0	0	4	2	2	0	0	0
3年生	3	3	4	0	1	0	1	0
計	4人	3人	11人	5人	3人	0人	3人	0人

考察 ・放課後「神ゼミ」に係る上記質問の回答率は、すべてにおいて前年を上回っている。「目的なり興味を持って受講している生徒は、確実に成果を上げている。」と指導者から報告を受けている。

・しかし、受講者が少ないだけに、増える取組なり策を考えていく必要がある。そして、指導者側は自信を持って、今後も研鑽を積みながら、実績の見える化(外部の発表大会等での入賞)を図っていく必要がある。

・放課後「神ゼミ」は、「油木高校魅力化+7プロジェクト」の目玉でもあるので、より多くの生徒が受講し、中身も充実したものになるよう、実績のある(株)プリペンの指導や支援を今後もお願いしていきたい。

⑤ <高校生> あなたは、将来、神石高原町に住んでみたいと思いますか。(* 町外生徒 61名の40%)

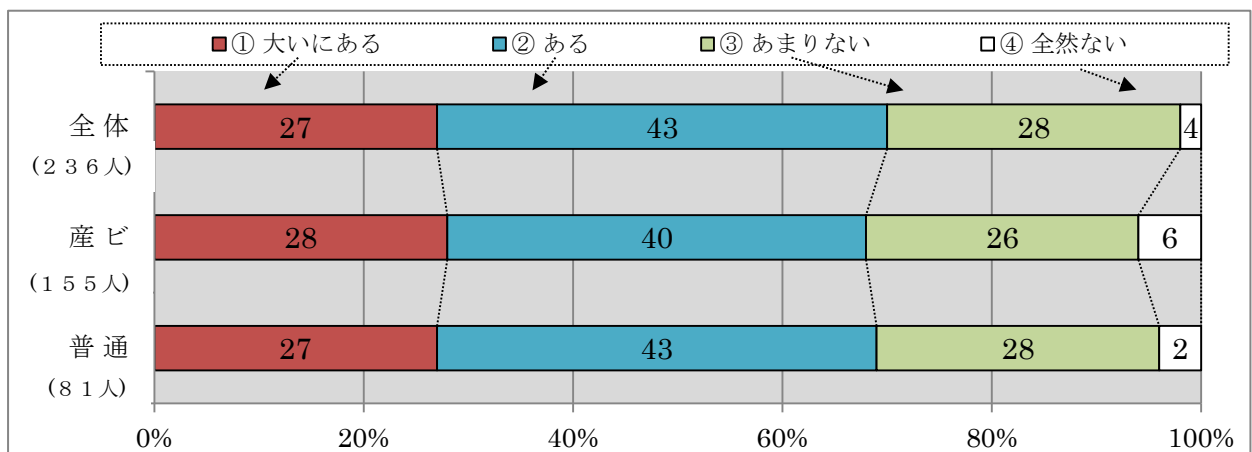


	普通科 (人)				産業ビジネス科 (人)				全 体
	1年	2年	3年	小計	1年	2年	3年	小計	
① 大いに思う	3	3	3	9 (11%)	3	4	2	9 (13%)	18 (12%)
② 思う	6	8	7	21 (25%)	3	3	7	13 (19%)	34 (23%)
③ あまり思わない	17	16	13	46 (55%)	9	11	7	27 (40%)	73 (48%)
④ 全然思わない	2	3	2	7 (9%)	5	7	7	19 (28%)	26 (17%)
小 計	28	30	25	83	20	25	23	68	151

考察 ・全体では、①「大いに思う」が12%（昨年10%）と約1割、人数では18人（昨年16人）である。そして、「思う」は23%（昨年23%）で、肯定的回答は約1/3である。一方、「あまり思わない・全然思わない」の否定的回答は65%で、約2/3を占めている。特に産ビ科で「全然思わない」が28%と多いのは、町外生徒が多いことが影響しているものと思われる。

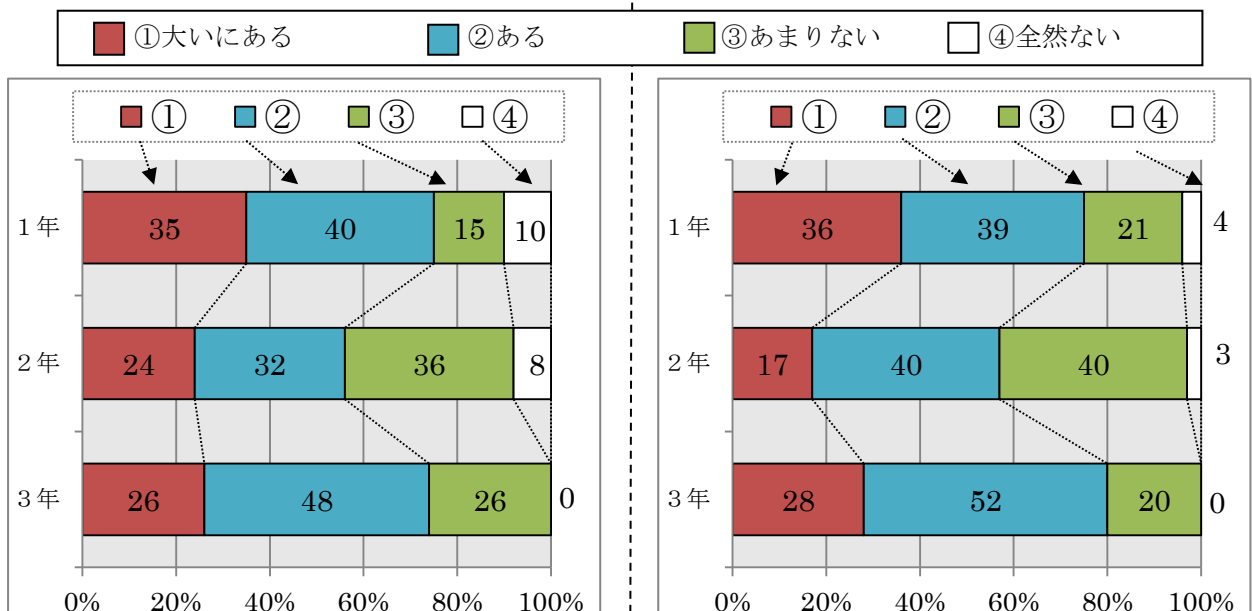
・学科別では、「大いに思う」は若干（2%）ではあるが産ビ科生の方が多量のもの、「思う」を含めた肯定的回答率では4%ほど普通科生の方が多くなっている。

⑥ <高校生> あなたは、自分の地元で貢献したいという気持ちがありますか。



< 産業ビジネス科 >

< 普通科 >

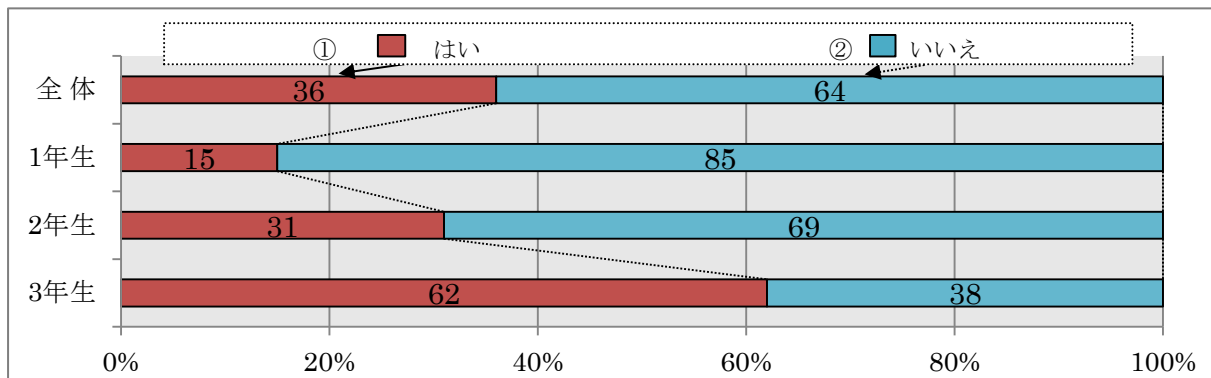


	産業ビジネス科 (人)				普通科 (人)				総計
	1年	2年	3年	小計	1年	2年	3年	小計	
① 大いにある	7	6	6	19 (28%)	10	5	7	22 (17%)	41 (27%)
② ある	8	8	11	27 (40%)	11	12	13	36 (39%)	63 (42%)
③ あまりない	3	9	6	18 (26%)	6	12	5	23 (37%)	41 (27%)
⑤ 全然ない	2	2	0	4 (6%)	1	1	0	2 (7%)	6 (4%)
小計	20	25	23	68	28	30	25	83	151

考察 ・全体では、地域貢献意欲が「大いにある」と回答した生徒が27%（昨年19%）で、「ある」を含めた肯定的回答は69%（昨年54%）で2/3以上と、昨年よりも増加しているのはうれしいことである。

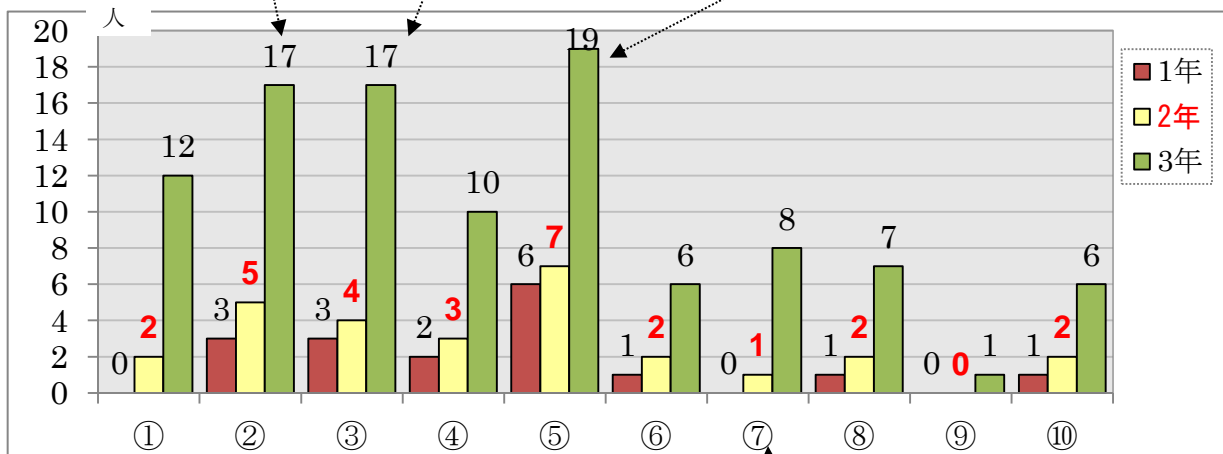
- ・学科別では、地域貢献意欲が「ある・なし」の割合は、普通科と産文科の数値にほとんど差はない。
- ・学科別&学年別では、肯定的回答が70%以上は4クラスあり、昨年は1クラス（普通科2年）のみであった。

7 <中学生> (1) 油木高校のホームページを見たことがありますか。



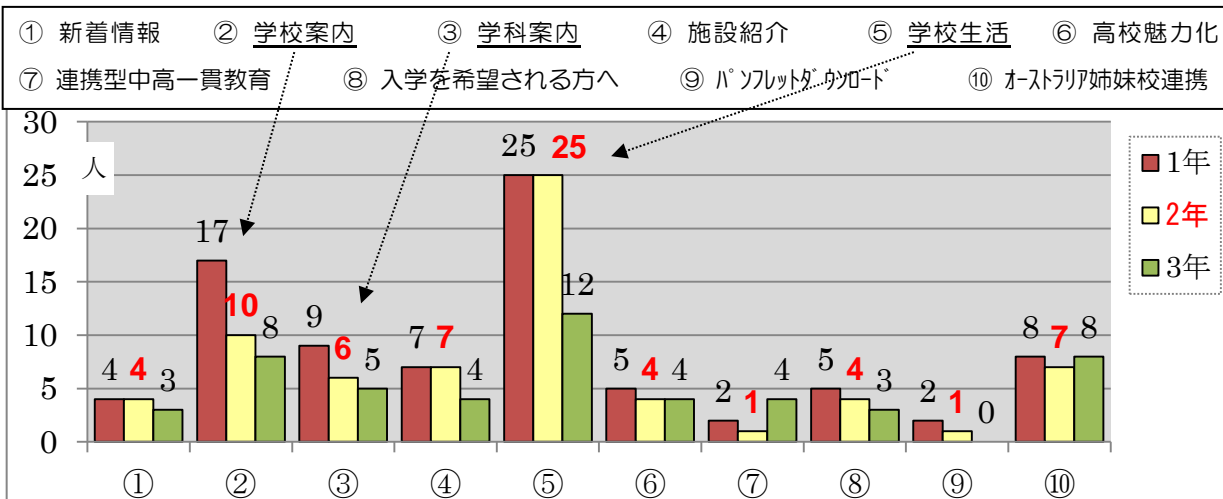
(2) 上記5(1)の質問で「①はい」と答えた人は、下の①～⑩の中で、どのコーナーに興味・関心を持って見ましたか。

- ① 新着情報 ② 学校案内 ③ 学科案内 ④ 施設紹介 ⑤ 学校生活 ⑥ 高校魅力化
 ⑦ 連携型中高一貫教育 ⑧ 入学を希望される方へ ⑨ パソレットクラウド ⑩ オーストラリア姉妹校連携



⑦ 連携型中高一貫教育

(3) 上記5(1)の質問で「①いいえ」と答えた人は、下の①～⑩の中で、どのコーナーに興味・関心がありますか。



考察 ・油木高校ホームページを見たことのある生徒は全体で30%（昨年度40%）と半分を切っているが、中3生は62%と、やはり高校への関心が高いことが同われる。

・「見たことがある生徒」で興味関心の高いものとしては、1位：⑤「学校生活」、2位：②「学校案内」、3位：③「学科案内」の順であった。そして、3年生は⑦「連携型中高一貫教育」に興味関心が高いようである。

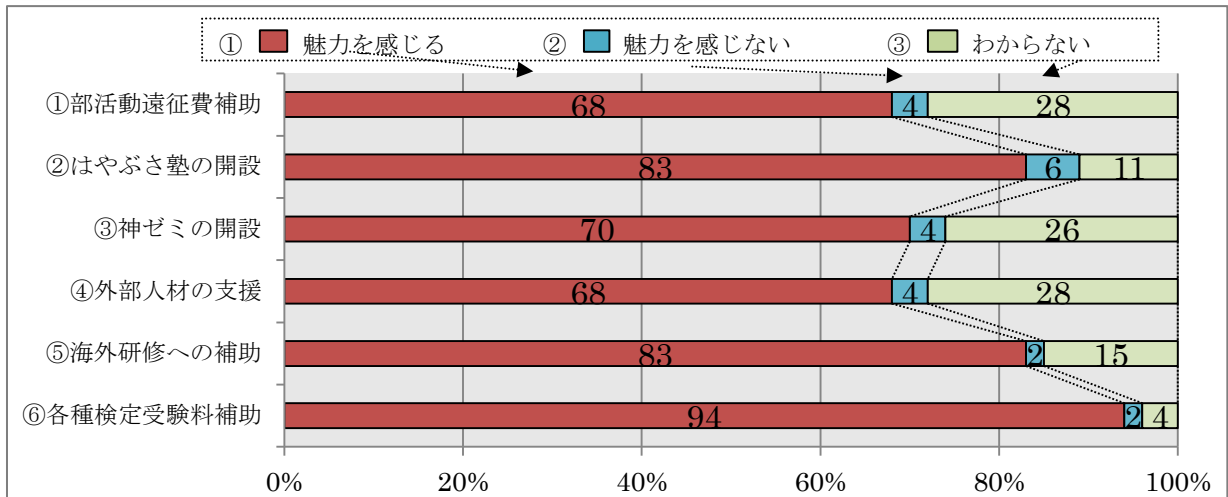
・「見たことがない生徒」で、興味関心の高いものとしては、1位：⑤「学校生活」、2位：②「学校案内」、3位：④「施設紹介」の順で、「見たことがある生徒」とあまり大差はない。

2. 油木高校魅力アップに係る 町の支援 について

＜中学生＞

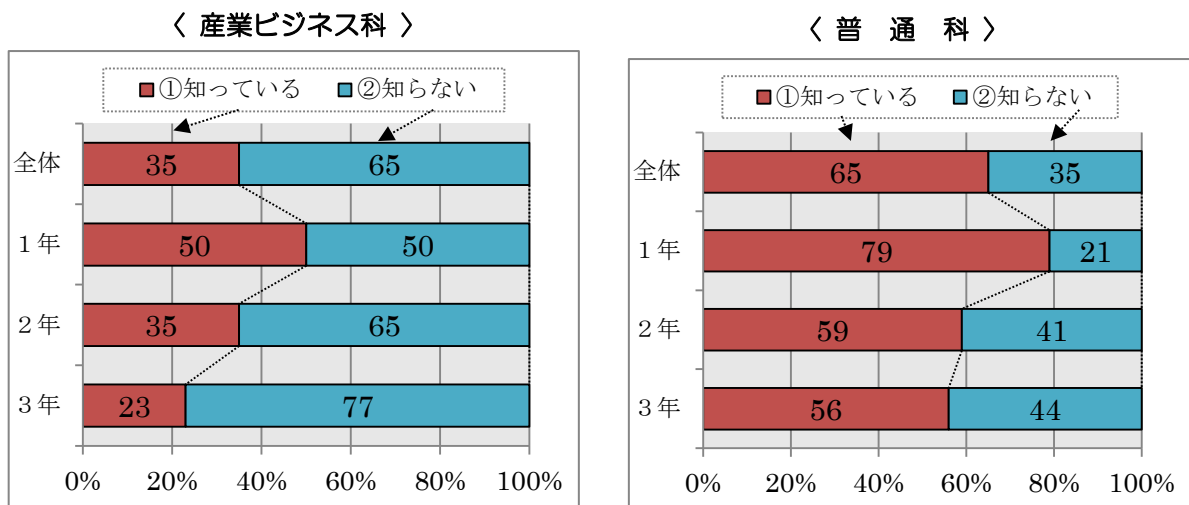
1. 次のような支援（ ① 部活動遠征費補助 ② はやぶさ塾の開設 ③ 海外短期・長期研修への支援 ④ 各種検定受験料の補助 ）についてどう思いますか。

* 下グラフは、内容をよく知っている中学3年生のもの



＜高校生＞

- 1 Q1 「はやぶさ塾」では、どんな方法で何の学習をしているのか知っていますか。



- Q2 本年度、「はやぶさ塾」に参加した人だけ教えてください。→ あなたの受講状況を教えてください。

	前期・後期とも受講				前期だけ受講				後期だけ受講			
	1年	2年	3年	計(人)	1年	2年	3年	計(人)	1年	2年	3年	計(人)
産ビ科	0	0	0	0	0	1	0	1	3	0	0	3
普通科	5	3	2	10	7	4	3	14	0	1	0	1
計	5	3	2	10	7	5	3	15	3	1	0	4

- Q3 「はやぶさ塾」に参加した人だけ教えてください → 参加してみたの感想はいかがですか。

① 大満足 ② 満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満

	普通科 (1・2・3年)	産ビ科 (1・2・3年)	計 (%)	理由
①	1人 (0・1・0人)	1人 (1・0・0人)	2人 (5%)	(普)・授業の予習もできたので、すごく自分の中で励みにもなったし、勉強が楽になりました。(産)・とてもいいです
②	13人 (4・4・5人)	2人 (1・1・0人)	15人 (36%)	(普)・充実している ・分からない所があったら分かりやすく指導してもらえるから ・テストの成績がよくなった ・集中できる ・テスト期間中分からない所を教えてもらえる ・集中できる環境で苦手な部分にしっかり力を入れて学習できていい (産)・しっかり勉強できた
③	16人 (8・6・2人)	3人 (1・0・2人)	19人 (45%)	・集中できる
④	3人 (0・3・0人)	0人 (0・0・0人)	3人 (7%)	
⑤	3人 (1・0・2人)	0人 (0・0・0人)	3人 (7%)	・ただ2時間黙々とプリントをやるだけで、やる気がなくなるし、つまらない ・講師が変わり、あまりよくなかった ・先生が変わったから ・自分の勉強したい教科ができない ・雰囲気が悪い。個別で机を仕切るようにすればいい

考察 ・はやぶさ塾での指導方法や内容に係る周知度は学科によってかなりの差があるが、昨年度から町内中学3年生は全員体験塾を本校で実施しているため、普通科1年生の周知度は高い。

・3年前から指導教科や時間帯を増やしているが、受講者数は29名(昨年:23名)で、そのうち通年者は10名(昨年:18名)と、前年より減少している部分もあり、原因対策を塾長や学校と協議しながら取り組んでいる。

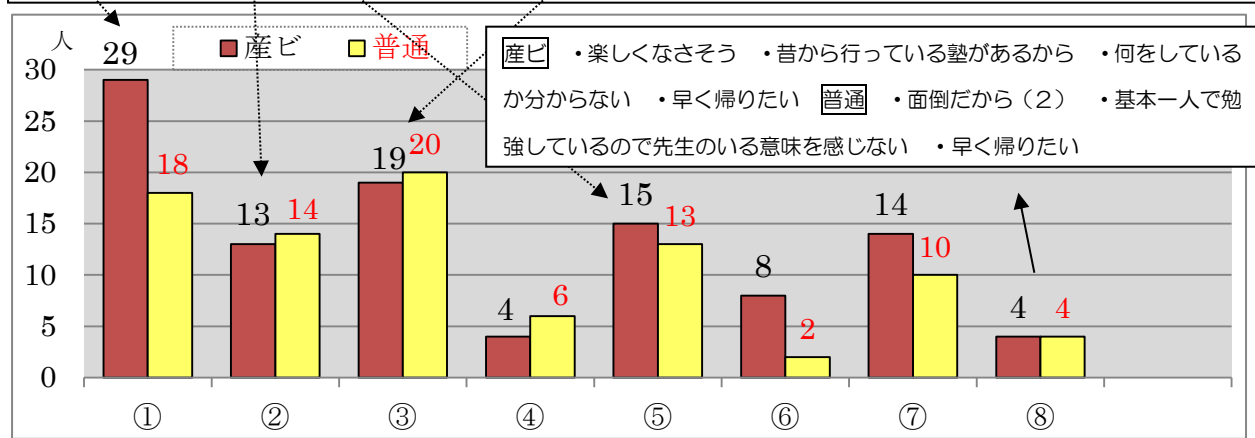
・7月～3月までは、前半(16:00～18:00)・後半(18:30～20:30)の2部制で実施しているが、両方(4時間)とも受講している生徒は、少ない(2年4名、1年8名)が、バス通学生にとっては好評のようである。

・受講者の評価としては、「大満足・満足」との肯定的評価は41%(昨年:72%)と例年よりもかなり低い評価である。反対に「やや不満・不満」との否定的評価は14%(昨年:0%)と増加している。生徒の思いを塾側や学校と十分検討した上で、今後の取組を進めていきたい。

※ 「はやぶさ塾」に参加していない人だけ教えてください。

Q4 「はやぶさ塾」に参加していない理由は何ですか。下の①～⑧の中で当てはまるものをすべて選んでください

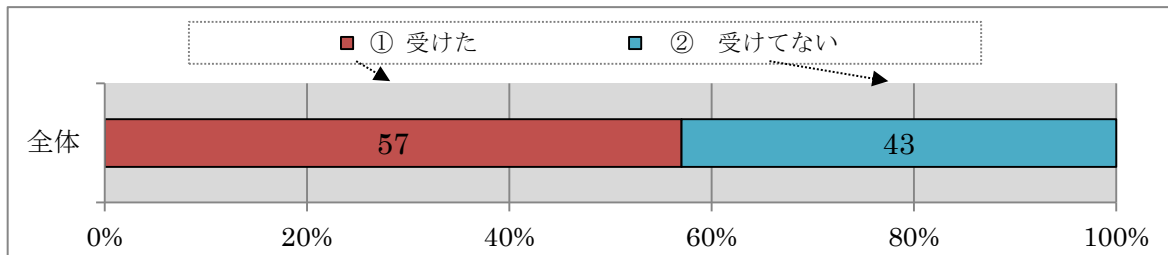
- ① 必要性を感じない ② 部活動の後は学習意欲がわかない ③ 20時30分終了だと帰宅手段(バス・迎えがない) ④ 塾の勉強の仕方が自分に合わない ⑤ 自分一人で勉強したい ⑥ 塾に行く時間がない ⑦ 受講料が高い(半期:1万円) ⑧ その他



考察 「参加していない理由」の多くは①「必要性を感じない」、③「帰宅手段がない」、⑤「自分一人で勉強したい」、②「部活動の後は学習意欲がわからない」といったもので、例年とあまり差異はない。

② 町外からバス通学している生徒で、本年度「定期券購入費の50%補助」を受けましたか。

(本年度の町外生徒は 61名)



<本年度入寮者の概要>

* () 内数は町内生徒数

学年	男子 (最大収容人数: 31人)			女子 (最大収容人数: 12人)		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年
人数	7人(0)	13人(0)	7人(0)	1人(0)	3人(1)	2人(0)
計	27人(0)			6人(1)		

考察 ・補助利用者は35人(57%)で、利用していない町外生は26人(47%)である。非利用者の多くは寮生(寮の町外人数: 男子27/27人・女子5/6人)のようなので、実質の利用率はほぼ100%で、非常に高い利用率である。この制度は町外の関係者から歓迎されており、油木高校の大きな魅力の一つではある。

③ 本町では油木高校生に対して各種検定受験料の補助(合格者のみ)をしていますが、令和2年2月~令和3年1月の期間で、これらの制度を利用したことがありますか。

	普通科				産業ビジネス科				総計 (人)
	1年	2年	3年	小計	1年	2年	3年	小計	
英語検定	3	2	6	11	0	1	1	2	13
漢字検定	4	1	5	10	3	2	4	9	19
数学検定	1	3	2	6	1	0	0	1	7
小型車両系建設機械(整地等) 小型フォークリフト特別教育講座	0	1	1	2	0	15	15	30	32

考察 ・科ごとに利用者数の違いはあるが、本年度初めて英語・漢字・数学検定の利用者が両学科ともあった。また、小型車両系建設機械・小型フォークリフト特別講習の利用者も両学科ともあった。

4 次の質問については、1，2年生のみ答えてください。

Q1 来年度、オーストラリア海外研修への参加希望がありますか。

① 希望あり ② 希望なし ③ わからない

	(1) 普通科			(2) 産業ビジネス科			合 計 (1)+(2) (%)
	① 1年生	② 2年生	①+② (%)	③ 1年生	④ 2年生	③+④ (%)	
① 希望あり	9人	2人	11人 (19%)	6人	5人	11人 (24%)	22人 (22%)
② 希望なし	11人	19人	30人 (53%)	8人	9人	17人 (38%)	47人 (46%)
③ わからない	8人	8人	16人 (28%)	6人	11人	17人 (38%)	33人 (32%)

Q2 「希望あり」と答えた生徒で、第一希望の研修期間はどちらですか。

① 短期（2週間） ② 長期（10週間）

	(1) 普通科			(2) 産業ビジネス科			合 計 (1)+(2)
	① 1年生	② 2年生	①+②	③ 1年生	④ 2年生	③+④	
① 短 期	7人	1人	8人	4人	3人	7人	15人
② 長 期	2人	1人	3人	2人	2人	4人	7人

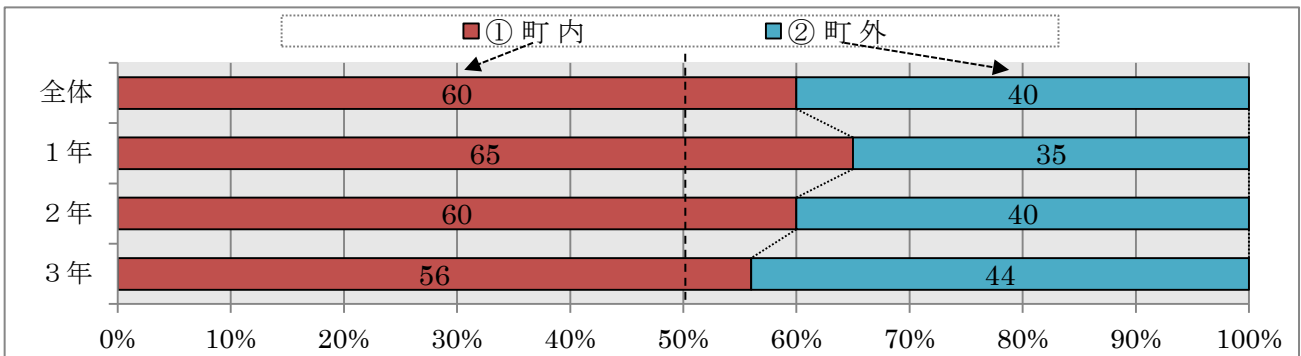
考察 ・現段階の「参加希望有り」と回答した生徒は、22名（昨年12名）とかなり多い，その中で短期が15名、長期が7名と回答している。いずれにせよ、定員数よりかなりオーバーしており、今後増える可能性もある。

ただ、昨年度からコロナの影響で実施できていないが、来年度についても不透明な部分が多い。しかし、現実的に実施の可能性はかなり低いと思われる。そこで、その代替え案（English Immersion Camp 的なもの）も検討しているが、できるだけ早い時期に高校側へ提案説明していく必要がある。

1. 油木高校魅力アップに係る 共通課題的設問 について

<高校生>

① あなたの出身中学校は、どちらですか。



<学年別・学科別の人数表>

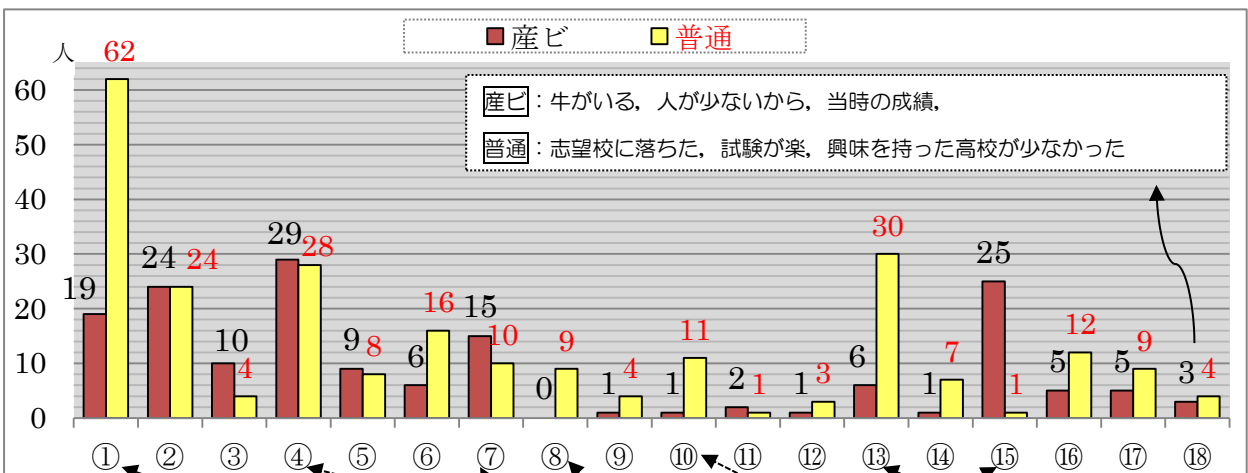
(人)

	産業ビジネス科			普通科			計		
	町内	町外	計	町内	町外	計	町内	町外	計
1年生	6	14	20	25	3	28	31	17	48
2年生	9	17	26	26	6	32	35	23	58
3年生	8	15	23	19	6	25	27	21	48
計	23	46	69	70	15	85	93	61	154

考察 ・全体的には、6対4で町内生徒が多いが、学科別で見ると、産ビ科の町外生徒が67%と断然多い。しかし、中高一貫教育校になる前（H26年度以前）は、普通科への町外入学生徒はほとんどいなかったが、最近次第に増加傾向にあると言える。

② あなたが油木高校を進路選択した理由は何ですか。下の①～⑱から該当するものを全て選んでください。（複数回答可）

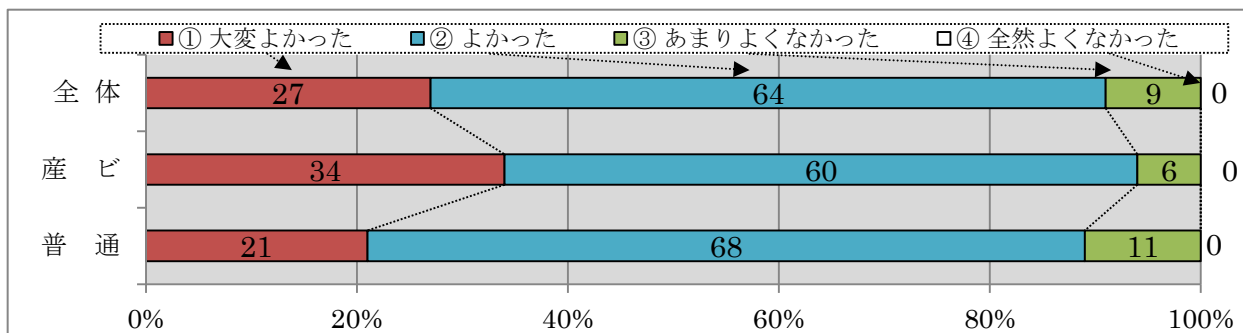
- | | | | |
|-----------------|------------------|-----------------|-------------------|
| ① <u>自宅から近い</u> | ② <u>親・家族の薦め</u> | ③ 先生の薦め | ④ <u>自分の希望</u> |
| ⑤ 教育内容面 | ⑥ 部活動面 | ⑦ <u>寮がある</u> | ⑧ <u>はやぶさ塾がある</u> |
| ⑨ 放課後神ゼミがある | ⑩ <u>海外研修がある</u> | ⑪ 進路実績 | ⑫ 評判 |
| ⑬ <u>友人関係</u> | ⑭ 経費が安い | ⑮ <u>学科への興味</u> | ⑯ 通学費の補助 |
| ⑰ 兄弟が通学している | ⑱ その他（ ） | | |



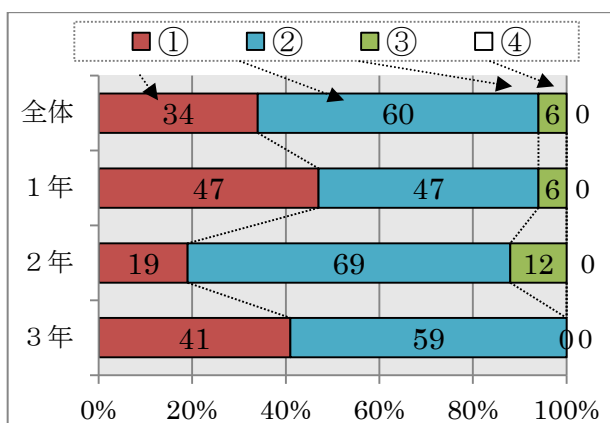
考察 ・全体的には、①「自宅から近い」や④「自分の希望」、そして②「親・家族の薦め」が多い。

・学科ごとで特徴的なのは、普通科では①「自宅から近い」③「はやぶさ塾がある」⑩「海外研修がある」⑬「友人関係」が産ビ科よりもかなり多く、産ビ科では⑦「寮がある」⑮「学科への興味」が多いのが特徴である。

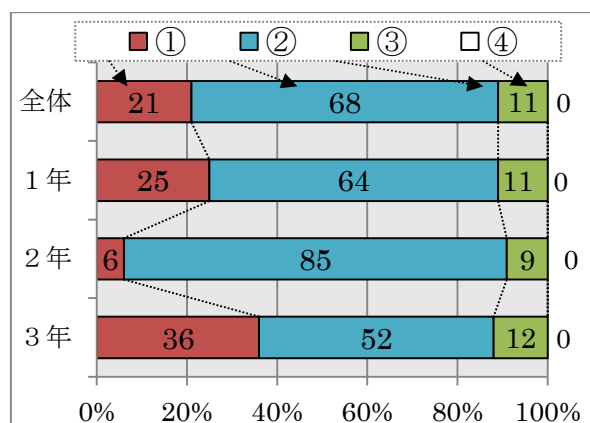
③ あなたは油木高校へ進学して、どうでしたか。



< 産業ビジネス科 >



< 普通科 >

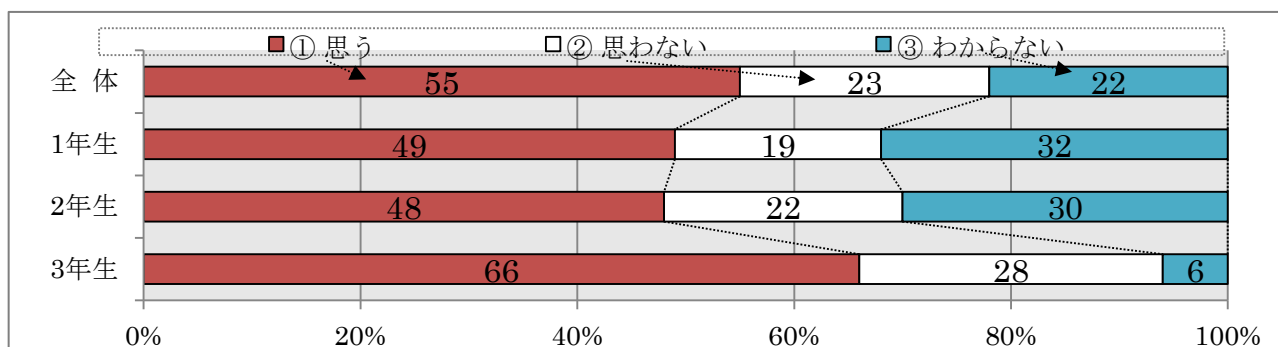


考察 ・全体では、例年と同様に多くの生徒（91%：昨年86%）が「よかった」と肯定的回答をしている。
 ・学科ごとでは、「大変よかった」とする者が、産ビ科全体で34%（昨年34%）、普通科は21%（昨年23%）であった。反対に「よくなかった」とする否定的回答をしている生徒は、産ビ科6%（昨年12%）、普通科11%（昨年16%）であった。その中で、「全然よくなかった」とする生徒は、産ビ科・普通科共に0%であった。
 ・学年、学科ごとでは、3年生の産ビ科が肯定的回答「よかった」が100%であった。昨年度との経年比較でみると、産ビ科3年の肯定的回答は（昨年96%→100%）、同じく2年生は（昨年77%→88%）、一方、普通科3年生は（昨年81%→88%）、2年生は（83%→91%）といずれも前年を上回る回答率であった。

< 中学生 >

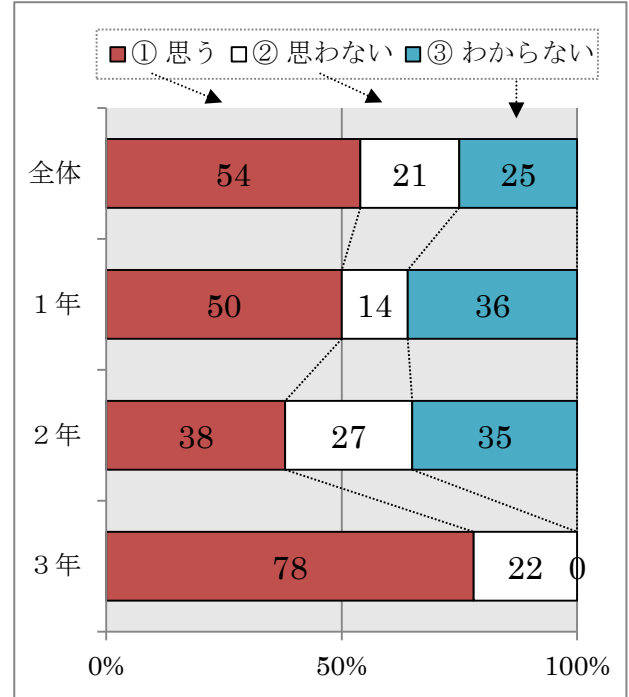
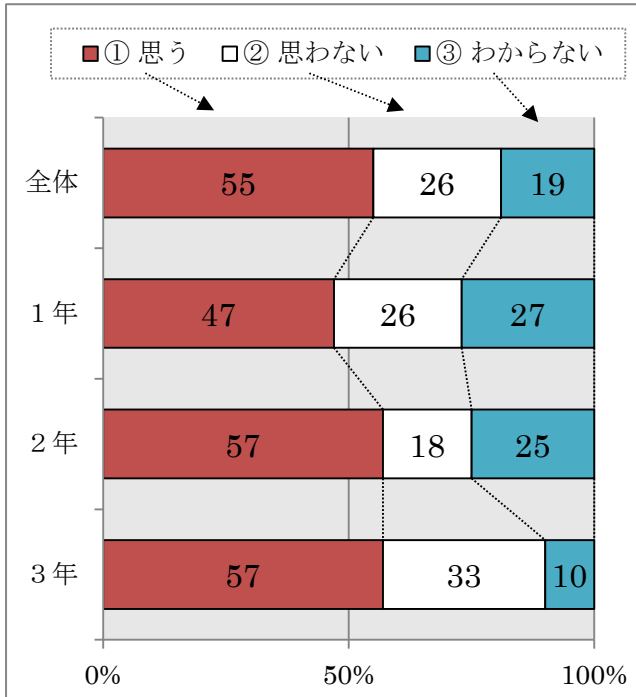
① (1) あなたは油木高校に進学したいと思いますか。

< 2校全体では >



< 三 和 中 >

< 神 石 高 原 中 >



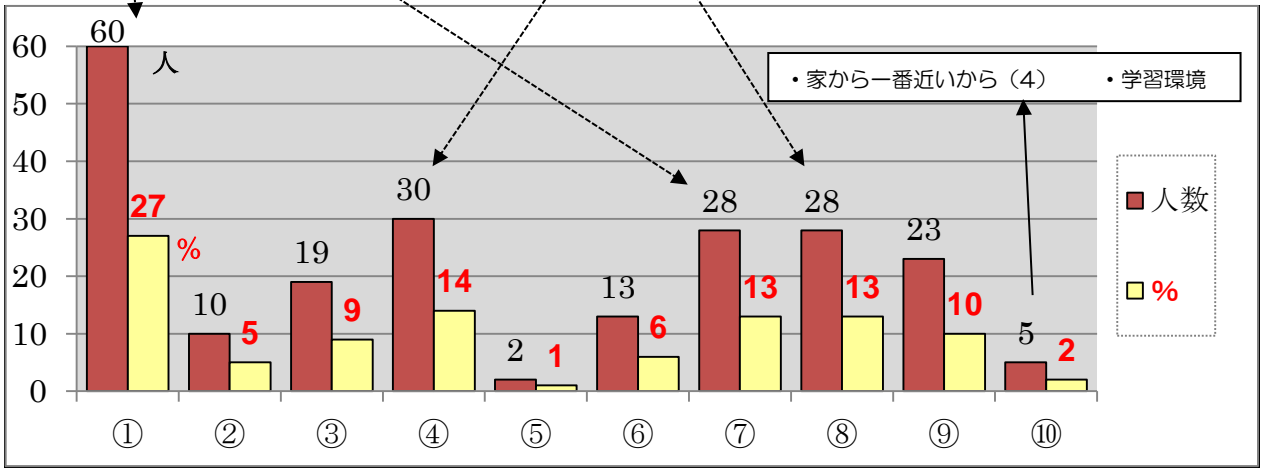
考察

- ・2校全体では、油木高校へ進学したいと「思う」は55%（前年46%、前々年38%）で、今までで1番高い数値（2番目はH27：49%）で、50%以上は初めてである。
- ・全体の学年別でも、3年生の「思う」が66%で一番高く（R2年61%、R1年61%、H30年54%）、一つの目標数値である60%以上をクリアが続いている。また、経年比較でみると（昨年度の1年生41%→本年度の2年生48%、昨年度の2年生35%→本年度の3年生66%）というように年々増加傾向になっている。これは、学校現場の取組みと地域あげでの取り組みの成果が伺われる。
- ・学校別においても、両校とも「油木高校へ進学したいと思う」率が3年生は前年の数値（前年時の数値：三和中22%、高原中32%）を大きくクリアしている。これは学校の取組みと保護者の理解によるところが大きい。

(2) 3(1)の質問で「①（油木高校へ進学したいと）思う」と答えた人で、その理由とと思うものを下の□の中から選んでください。（複数回答可）

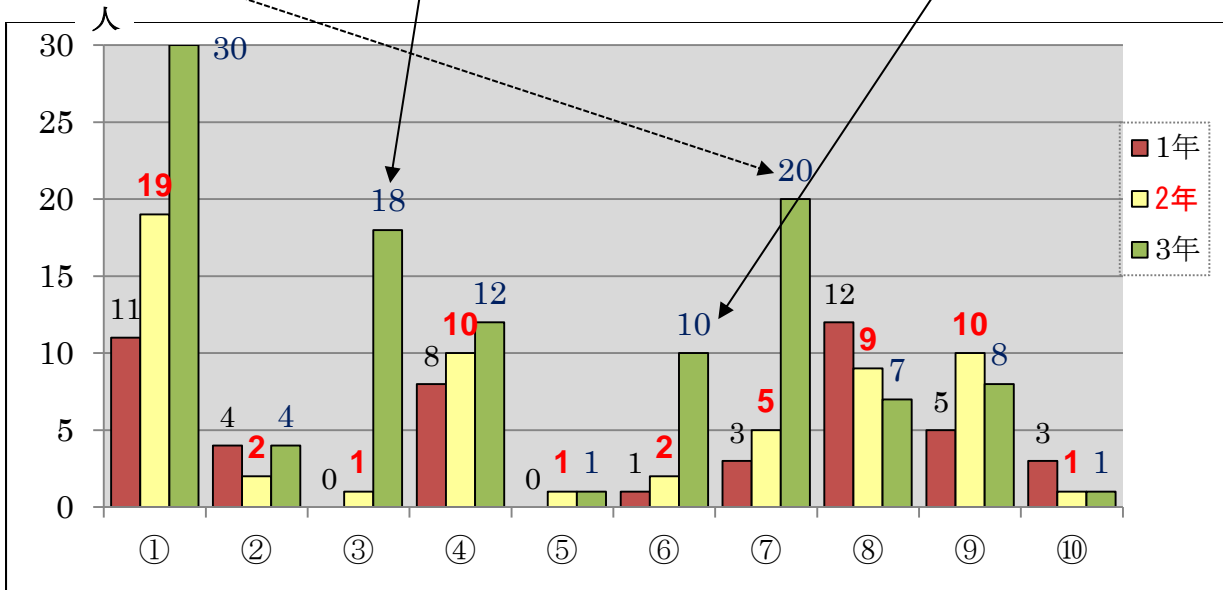
- ① 通学に便利 ② 進路実績 ③ 教育内容面 ④ クラブ活動面 ⑤ 寮がある ⑥ 施設設備がよい
- ⑦ 町の支援（公営塾、海外研修等）がある ⑧ 親・家族の等の薦め ⑨ 友人関係 ⑩ その他

< 2校全体では >



<学年別の人数では>

- ① 通学に便利 ② 進路実績 ③ 教育内容面 ④ クラブ活動面 ⑤ 寮がある ⑥ 施設設備がよい
 ⑦ 町の支援（サテライン、公営塾、海外研修等）がある ⑧ 親・家族の薦め ⑨ 友人関係 ⑩ その他

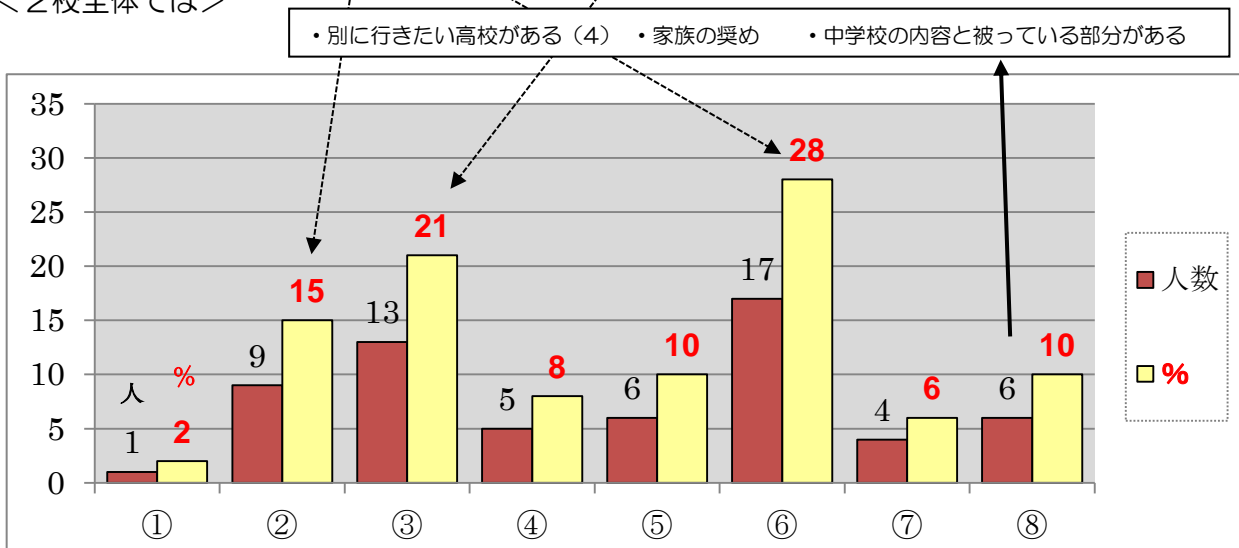


考察 ・2校全体で多い順は、1位：① 通学に便利（27%）、2位：④ クラブ活動（14%）、3位：⑦ 町の支援（公営塾、海外研修等）・親、家族の薦め（13%）で、「クラブ活動」が上位に来たのは初めてである。
 ・学年別で特徴的なものとしては、3年生が他学年にはあまり無い項目（⑦「町の支援」、③「教育内容面」、⑥「施設設備がよい」）を多く挙げている。これは、3年生が油木高校体験入学などを通して油木高校の良さを多方面にわたって感じているものと思われる。

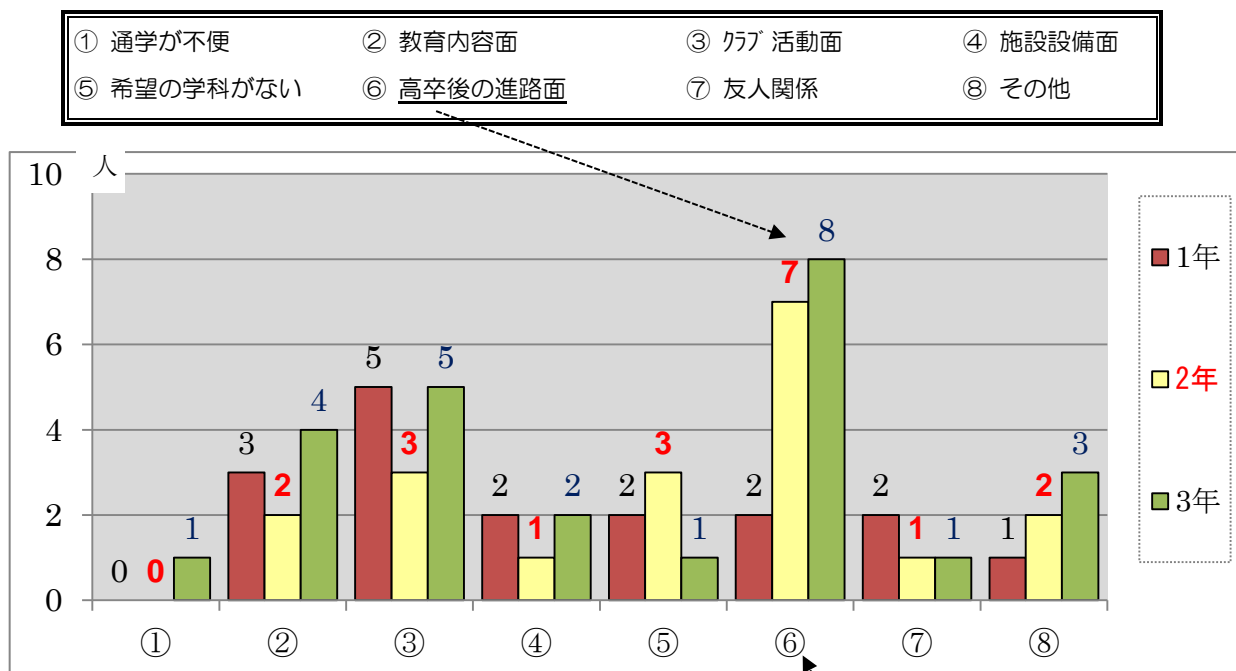
(3) 3(1)の質問で「②（油木高校へ進学したいと）思わない」と答えた人で、その理由と思うものを下の□の中から選んでください。（複数回答可）

- ① 通学が不便 ② 教育内容面 ③ クラブ活動面 ④ 施設設備面
 ⑤ 希望の学科がない ⑥ 高卒後の進路面 ⑦ 友人関係 ⑧ その他

<2校全体では>



<学年別の人数では>



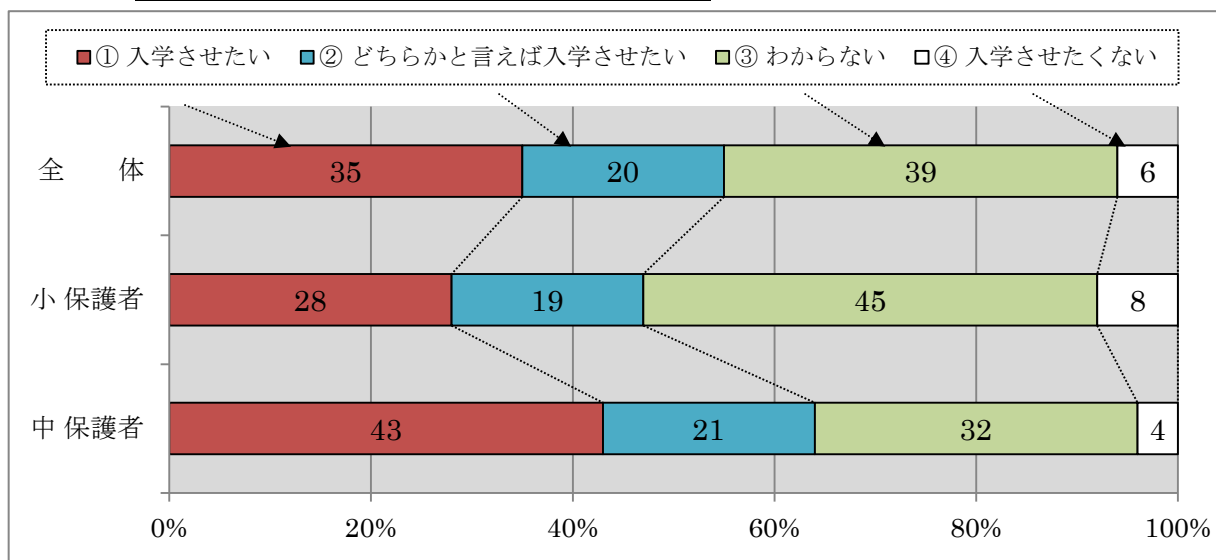
考察 ・2校全体で多いのは、1位：⑥「高卒後の進路面」(28%)、2位：③「クラブ活動面」(21%) 3位：②「教育内容面」(15%)、となっており、ほぼ例年とあまり差異はない。

・例年のごとく本年度も「(油木高校へ進学したい) 思わない」理由の中で、⑥「高卒後の進路面」が最も多い。それだけに町内中学校での進路説明会時に油木高校担当教員が「高卒後の進路面」に特化して説明する必要があるように思われる。また、「油木高校の進路指導や進路実績」を学校ホームページ上でしっかりと紹介していく必要がある。

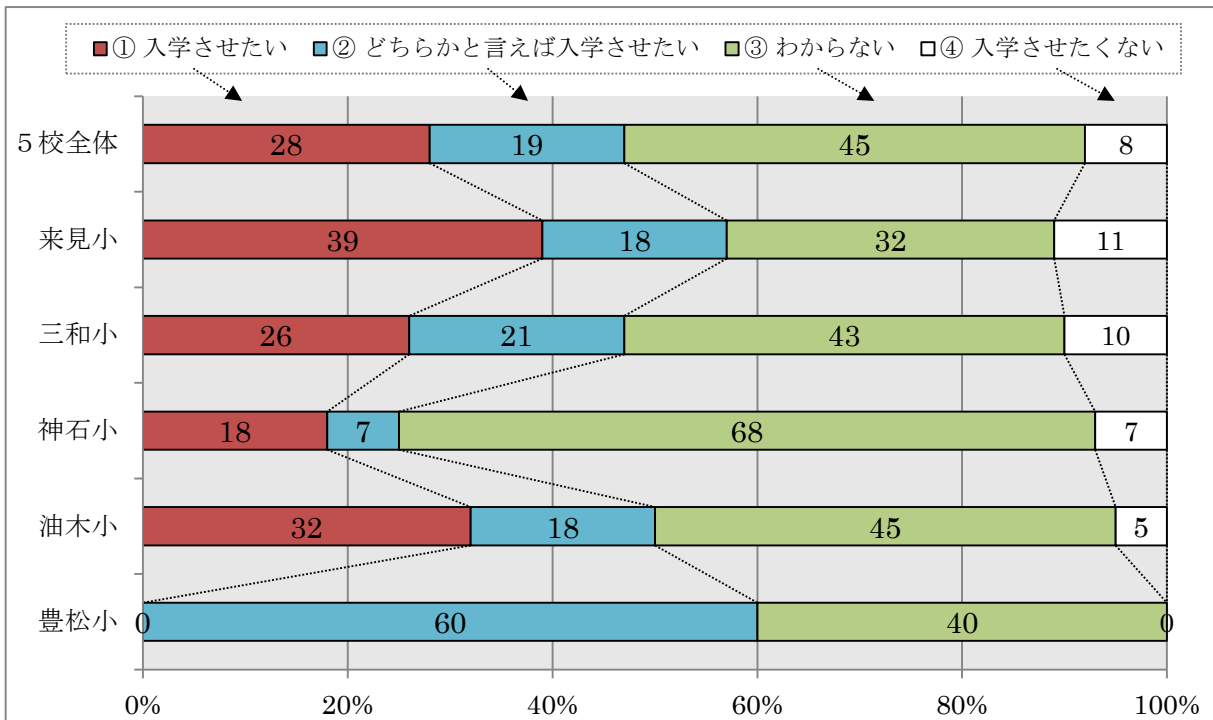
・各中学校において、油木高校生（特に出身中学生）が頑張っている姿を機会あるごとに後輩中学生に語り、直接高校生が中学生に話していく機会（例：高校進路説明会、油高生による進路学習会など）が持てれば、大変効果があると思われる。←（高校は中学校へ随時しっかりと情報提供していく）

< 保護者 >

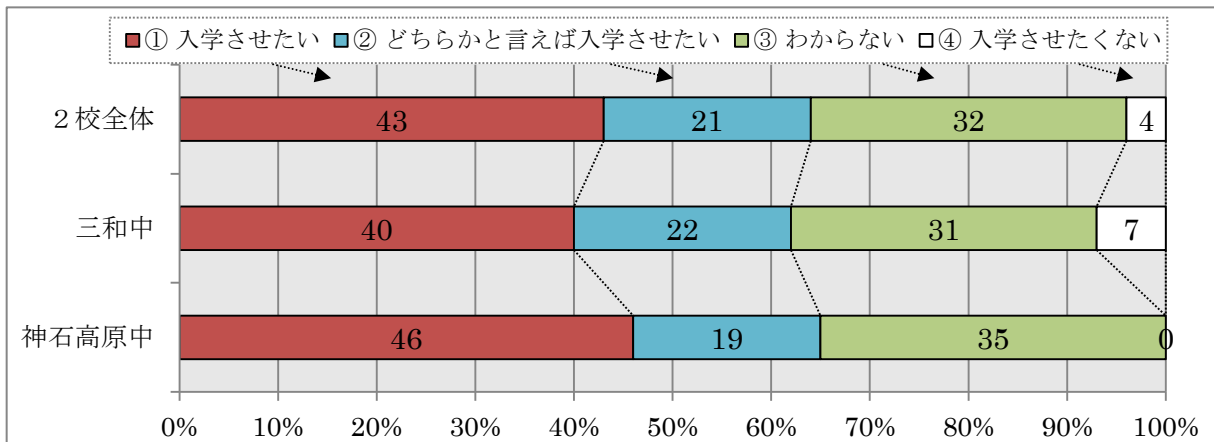
①(1) あなたの子どもさんを油木高校に進学させたいと思いますか。



＜各小学校別では＞



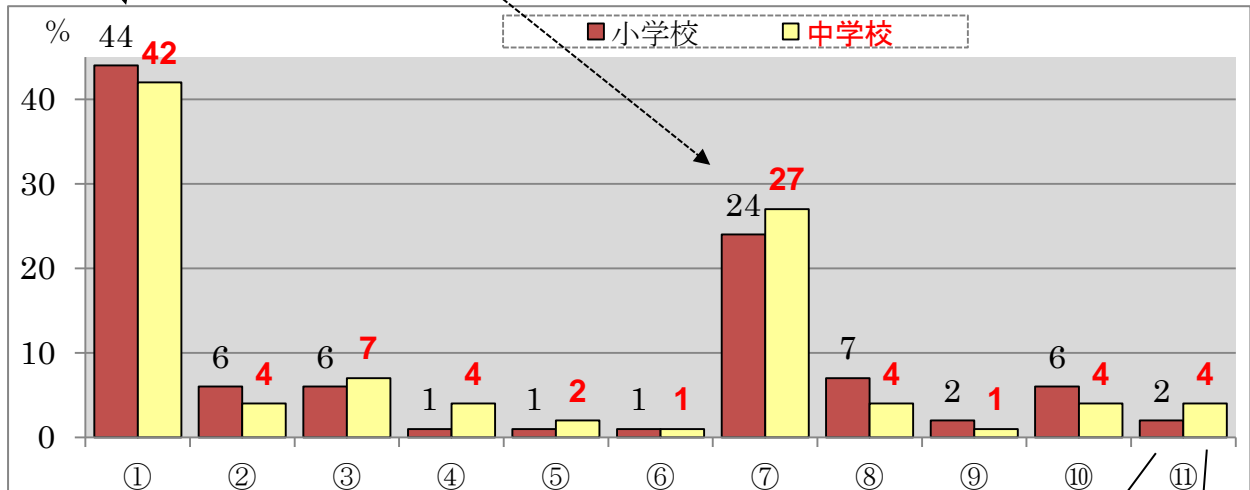
＜各中学校別では＞



考察 ・全体としては、「入学させたい」肯定的回答は53%（昨年53%，一昨年46%）で昨年と同じであった。
 ・小中学校別では、どの項目も小中学校の差はこれまでほとんど見られなかったが、本年度は「わからない」は小学校が多く、「入学させたくない」は中学校が多かった。
 ・各学校別の小学校では、「入学させたい」肯定的回答50%以上が4校（昨年4校）である。中でも、油木小学校65%、豊松小学校63%と高い肯定的回答である。
 ・中学校において、両校とも「入学させたい」回答率が50%以上であるが、小中学校共に「わからない」の回答が多いだけに、今後の取組みによって「入学させたい」と思われるような教育実践や魅力づくりに向けて、学校現場と教育行政との両面から努力していく必要がある。

(2) 上記(1)の質問で「① 入学させたい」or「② どちらかと言えば入学させたい」と答えられた方で、その理由と思
うものを下の中から選んでください。(複数回答可)

- | | | | | |
|-----------|-------------------|-------------|----------|--------|
| ① 通学に便利 | ② 進路実績 | ③ 教育内容面 | ④ クラブ活動面 | ⑤ 寮がある |
| ⑥ 施設設備がよい | ⑦ 町の支援(公営塾、海外研修等) | ⑧ 学校や生徒の雰囲気 | | |
| ⑨ 家族等の薦め | ⑩ 友人関係 | ⑪ その他 | | |



⑪ その他 (小学校)

- ・長女が今年油木高校卒業予定で、良い学校だと思います。
- ・生徒一人一人に指導が行き届く。
- ・油木高校の卒業生だから
- ・本人の希望だから

⑪ その他 (中学校)

- ・個性も大切にされていて生徒も楽しそうに見える。(2)
- ・長女が今年油木高校卒業予定で、良い学校だと思います。
- ・福山へ行くバスの便が無くなったので。
- ・福山など遠方には通わされない。
- ・中高一貫なので入試に受かりやすい。
- ・地元の高校に通って欲しい
- ・本人の希望 (2)

考察 ・小学校と中学校を比較した時、ほとんど同じような傾向といえる。即ち、油木高校を選択する理由は、多いものとして、①「通学に便利」と⑦「町の支援」の二つが際立って多かった。

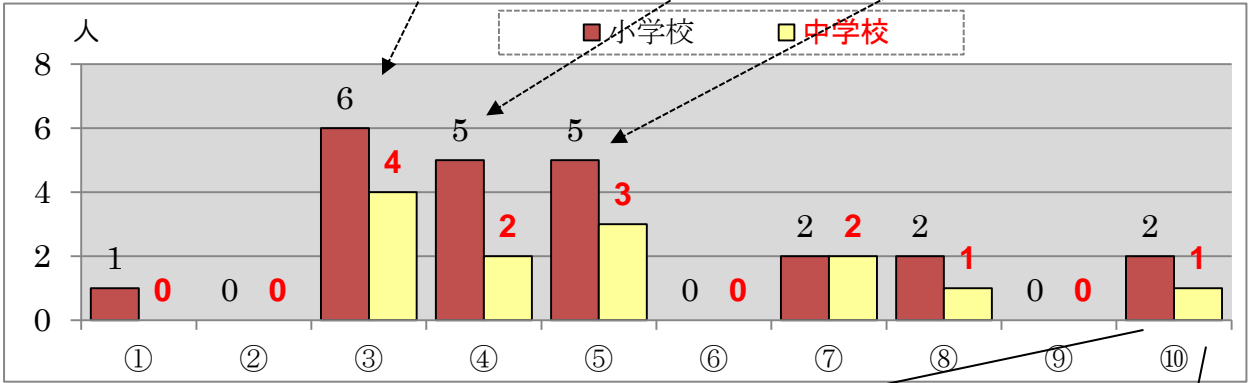
これらのことから、保護者に受け入れられている「町の支援」はできるだけ継続しながら、費用対効果が上がるように中身の充実を図っていかなければならない。また、「通学便」もかなり重要度が高いことから、町としてできる支援策を今後においても検討しながら、魅力アップにつなげていく必要がある。

(3) 上記 6(1) の質問で「④ 入学させたくない」と答えられた方は、子どもさんの高校進路選択をする上で、保護者として重要視したいことはどんなことですか。

下の から最も重要視したいものを2つ選んでください。

- | | | | | |
|---------|----------|------------|---------|---------|
| ① 通学の便 | ② 伝統や校風 | ③ 子ども本人の希望 | ④ 学習環境面 | ⑤ 教育内容面 |
| ⑥ 施設設備面 | ⑦ クラブ活動面 | ⑧ 進路実績 | ⑨ 経費面 | ⑩ その他 |

- ① 通学の便 ② 伝統や校風 ③ 子ども本人の希望 ④ 学習環境面 ⑤ 教育内容面
- ⑥ 施設設備面 ⑦ クラブ活動面 ⑧ 進路実績 ⑨ 経費面 ⑩ その他



⑩ その他（小学校）
 ・信頼できる教師がない。(2)

⑩ その他（中学校）
 ・大人が見学に行っても寝ている生徒が居たり，それを注意しない先生がいるので，プティ外などがすごくても質の問題が心配。

考察 ・ 高校進路選択をする上で，特に重要視したいものとして多いのは，③「子ども本人の希望」，続いて⑤「学習内容面」，そして④「学習環境面」でした。

これらのことから，保護者の多くが「子ども本人の希望」を最優先される傾向にあり，児童・生徒への油木高校の理解や関心を深めていく取組みが重要である。